



④「おしゃれな衣装を身に着けて生き生きとする人を見てほしい」と別府市職員動画の1シーン。自作した服を身に着ける障害のある服飾デザイナー道音さつきさん（右）と友人



市が動画で発信

障害ある人らの装い鮮やか

湯にばくさるファッションinべっぷ



動画「湯にばくさるファッションinべっぷ」のQRコード

【別府】別府市は、オーダーメイドの服を身に着けた障害者や外国籍の人らがモデルとして登場する動画「湯にばくさるファッションinべっぷ」を作った。6年前から定期的開催するファッションショーの1環。市のホームページや動画投稿サイト「ユーチューブ」で発信している。ファッションショーは共生社会の実現や障害者の社会参加を促し、障害のある人もない人もファッションを楽しむことが目的。2016年に市障害者自立支援協議会当事者部会の企画として始まった。動画は新型コロナウイルスの影響で、昨年3月に予定していたショーが中止になったことで、「コロナでもできることをしたい」と制作に取り組んだ。テーマは「フォー・ザ・フューチャー」。障害者や

2021年5月24日付 大分合同新聞6面

別府市は、障害者や外国籍の人らがモデルとして登場する動画「湯にばくさるファッションinべっぷ」を作り、発信しています。

高齢者でも着られる服作りに取り組む服飾デザイナーの鶴丸礼子さん（大分市）がプロデュースした。鶴丸さんの服のほか、障害のある服飾デザイナーや小学生らが制作した15着を用意。12人のモデルが新作の服を着て、別府市内の観光地やJR大分駅前などを歩き、コロナ禍の中でも生き生きと過ごす様子や思いを伝えた。市障害福祉課は「多くの人が元気になる内容。どんな状況でも前を向く姿勢に触れてもらえたら」と話している。

①定期的に開催していたファッションショーは、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。ショーを主催する人たちは、どう思い、何をしましたか？（ ）に言葉を入れてください。

「（ ）」と（ ）に取り組んだ。

②障がい者など誰もが人格と個性を尊重し、支え合い、多様な在り方を相互に認め合う全員参加型の社会のことを何と呼びますか？

（ ）社会

③動画を見て、感じたことを書きましょう。湯にばくさるファッションinべっぷ

.....